



2022年8月12日

各位

会社名 ビート・ホールディングス・リミテッド
 (URL: <https://www.beatholdings.com>)
 代表者名 最高経営責任者 (CEO)
 チン・シャン・ファイ
 (東証スタンダード市場 コード番号: 9399)
 連絡先 IR室マネージャー
 高山 雄太
 (電話: 03-4570-0741)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日付の「2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の連結業績予想と実績値の差異について、また、2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想の修正について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想と実績値の差異

(1) 2022年12月期第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の連結業績予想(日本基準)と実績値の差異

(単位:千米ドル(1株当たり当期純利益は米ドル)、
 括弧内は百万円(1株当たり当期純利益は円)、但し%を除く)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ^{1,2} (A)	1,061 (145)	△1,825 (△249)	△1,848 (△253)	△1,848 (△253)	△0.03 (△4.10)
実績値 ¹ (B)	1,044 (143)	△979 (△134)	△1,009 (△138)	△1,018 (△139)	△0.02 (△2.73)
差異(B - A)	△17 (△2)	846 (116)	839 (115)	829 (113)	0.01 (1.37)
増減率(%)	△1.59	-	-	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2021年12 月期の同期間)	2,287 (313)	△2,157 (△295)	△2,823 (△386)	△7,133 (△975)	△0.13 (△17.77)

- 適用為替レート: 1米ドル=136.68円(2022年6月30日現在の東京外国為替市場における外国為替相場(仲値))
- 2022年2月14日付業績予想において適用された為替レートは1米ドル=115.02円から136.68円に変更されております。
- △は損失を示します。

(2) 差異の理由

上記のとおり、当社は2022年12月期第2四半期連結累計期間における営業損失の予想を1,825千米ドル(249百万円)と予想しておりましたが、実績値は979千米ドル(134百万円)となりました。これは、主に販売費及び一般管理費の内、弁護士及びその他の専門家費用の実績値が、当初の予想を652千米ドル(89百



万円) 下回ったことによります。また、上記営業損失が当初の予想を下回ったことを主な理由として、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失もそれぞれ当初の予想を下回りました。

2. 通期業績予想の修正

- (1) 2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想(日本基準)の修正
(単位:千米ドル(1株当たり当期純利益は米ドル)、
括弧内は百万円(1株当たり当期純利益は円)、但し%を除く)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 ^{1,2} (A)	2,134 (292)	△3,649 (△499)	△3,696 (△505)	△3,696 (△505)	△0.06 (△8.20)
今回修正予想 ¹ (B)	2,117 (289)	△2,675 (△366)	△2,749 (△376)	△2,759 (△377)	△0.05 (△6.83)
増減(B-A)	△17 (△2)	974 (133)	946 (129)	937 (128)	0.01 (1.37)
増減率(%)	△0.80	-	-	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2021年12 月期通期)	3,845 (525)	△4,195 (△573)	△6,075 (△830)	△15,785 (△2,157)	△0.28 (△38.27)

- 適用為替レート: 1米ドル=136.68円(2022年6月30日現在の東京外国為替市場における外国為替相場(仲値))
- 2022年2月14日付業績予想において適用された為替レートは1米ドル=115.02円から136.68円に変更されております。
- △は損失を示します。

(注) 業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

(2) 修正の理由

上記の修正は、主に第2四半期連結累計期間における営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失の実績値が、当初の予想を下回ったことによります。

(参考) 国際財務報告基準(IFRS)に基づく業績予想の修正

2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想(IFRS)の修正
(単位:千米ドル、括弧内は百万円、但し%を除く)

	売上高	親会社株主に帰属する 当期純利益	E B I T D A
前回予想 ^{1,2}	2,134 (292)	△3,696 (△505)	△3,398 (△464)
今回修正予想 ¹ (B)	2,117 (289)	△2,776 (△379)	△2,444 (△334)
増減(B-A)	△17 (△2)	920 (126)	954 (130)
増減率(%)	△0.80	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2021年12月期通期)	2,171 (297)	△14,791 (△2,022)	△10,117 (△1,383)

- 適用為替レート: 1米ドル=136.68円(2022年6月30日現在の東京外国為替市場における外国為替



相場（仲値）

2. 2022年2月14日付業績予想において適用された為替レートは1米ドル=115.02円から136.68円に変更されております。
3. △は損失を示します。

（注）業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

本書における上記の業績予想に関する記載は、本書の日付現在において経営陣に入手可能な情報に基づいております。予想には様々なリスク及び不確実性が内在しており、実際の業績及び結果はこれらの予想と大きく異なる場合があります。投資家の皆様は、投資判断を行うに当たって、本書に記載される業績予想のみに依拠することのないようご留意下さい。業績予想につきましても随時見直しを行い、開示ルールに従って公表していく予定です。

以上

ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは、ケイマン諸島においてケイマン法に基づいて設立・登記されたグローバルな投資会社で、香港に事業本部を構え、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国及びカナダに子会社を有しております。子会社の新華モバイル（香港）リミテッドを通じて知的財産権の取得及びライセンスを行っています。また、子会社のGINSMS Inc.（トロント・ベンチャー証券取引所に上場、TSXV：GOK）を通じてモバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及び専門サービスを提供しています。当社は、東京証券取引所のスタンダード市場に上場（証券コード：9399）しております。

詳細は、ウェブサイト：<https://www.beatholdings.com/> をご参照下さい。

本書は一般公衆に向けられた開示資料であり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。投資家は、当社への投資を判断する際、当社の過去の適時開示資料及び法定開示資料を含むがこれらに限定されない開示資料を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を併せて考慮した上でかかる判断を行う必要があります。